

## 『横浜市立病院中期経営プラン 2019-2022』を策定

～地域医療のリーディングホスピタルとして先導的役割を果たします～

市立病院では、現在の中期経営プランに引き続き新たな4年間の中期経営計画として、「**横浜市立病院中期経営プラン 2019-2022**」を策定しました。

各病院の特色を活かすとともに、提供する医療の質の向上と安全を確保し、「**医療機能の充実**」「**地域医療全体への貢献**」「**経営力の強化**」を図ります。また、自立した持続可能な経営基盤を構築し、**患者や職員に選ばれる病院を目指します。**

また、市民の医療ニーズに的確に対応するとともに、**地域医療のリーディングホスピタルとして先導的な役割を果たします。**

### ◎市立病院の果たすべき役割

#### 【医療機能の充実】

- 市立病院として各病院の特色を活かし、市民病院及びみなと赤十字病院では高度急性期・急性期を、脳卒中・神経脊椎センターでは専門領域における高度急性期から回復期まで一貫した医療等、横浜地域に必要な最先端の医療を提供します。
- 5 疾病（がん、脳卒中、心筋梗塞等の心血管疾患、糖尿病、精神疾患）や4 事業（救急医療、災害時における医療、周産期医療、小児医療）において、中心的な役割を果たします
- 市民の健康寿命を延伸するための取組として、認知症の早期発見や予防活動の推進、認知症を抱える患者へのサポート体制を強化するなどフレイルへの取組を進めていきます。

#### 【地域医療全体への貢献】

- 今後増加が見込まれる在宅医療の需要に対応するため、入退院支援の強化や地域の医療機関や介護事業所等との連携を強化し、在宅医療への円滑な移行を支援します。

#### 【経営力の強化】

- 病院経営に精通した医療人材を確保・育成し、長期的・俯瞰的視点から最適な医療を提供する体制の強化を図ります。また経営分析の強化を通じて診療報酬の改定や医療ニーズの変化に柔軟に対応することを可能にし、収益の最適化を図ります。

### ◎各病院の主な取組

#### 【市民病院】

- 手術室の拡充等による総合的ながん医療の充実、脳卒中・循環器病対策基本法を踏まえた心血管疾患・脳卒中医療の強化、救命・重症系病床の拡充等による救急医療の充実、NICU や GCU の増床による周産期医療の強化、第一種感染症指定医療機関としての感染症医療、さらに災害時にも7日間病院機能が維持できるよう災害拠点病院としての機能強化を図るなど、政策的医療を充実させます。
- 予防医療、がんゲノム医療、国際化対応等、新たなニーズに対応した医療機能を強化します。
- 認定看護師の講師派遣等により、地域医療の質向上に貢献します。
- 市民の医療ニーズに的確に対応し、持続可能な経営を確保します。

### 【脳卒中・神経脊椎センター】

- 脳卒中・循環器病対策基本法の成立を受け、「包括的脳卒中センター」として認定を受けられるよう対応を進めるなど脳卒中医療機能の充実を図ります。
- 神経疾患、脊椎脊髄疾患、リハビリテーション領域の充実・強化、ロコモやフレイルへの対応を進めます。
- 在宅・介護施設等で症状の急変が生じた患者の受入など、地域医療機関との連携・支援を強化します。
- 早期の経常収支の黒字化と自立的な経営基盤の確立・維持に努めます。

### 【みなと赤十字病院】

- 救急車受入数全国トップクラスの維持、ブレストセンターの機能拡充等によるがん医療の充実を図るとともに、冷凍カテーテルアブレーションや TAVI の実施など、新技術を含む高度かつ先進的医療を提供します。
- 「神奈川県アレルギー疾患医療拠点病院」としてアレルギー疾患医療の充実を図ります。
- 地域の病院や医師会等医療関係団体、地域ケアプラザ等との連携を一層進展させます。

## 収支見通し

### 【市民病院】

(単位：百万円)

	31年度	32年度	33年度	34年度
経常収益	24,421	25,170	26,499	26,723
経常費用	24,030	26,693	26,675	26,827
<b>経常収支</b>	<b>391</b>	<b>▲ 1,523</b>	<b>▲ 176</b>	<b>▲ 104</b>
入院診療単価	73,300円	73,000円	73,848円	74,837円
入院患者数	207,829人	203,032人	219,409人	219,409人
病床利用率(一般病床)	91.0%	86.6%	93.0%	93.0%
外来診療単価	19,000円	19,000円	19,000円	19,000円
外来患者数(1日あたり)	1,459人	1,400人	1,400人	1,400人

### 【脳卒中・神経脊椎センター】

	31年度	32年度	33年度	34年度
経常収益	8,223	8,238	8,302	8,369
経常費用	8,209	8,212	8,255	8,269
<b>経常収支</b>	<b>14</b>	<b>26</b>	<b>47</b>	<b>101</b>
入院診療単価	52,700円	52,900円	53,150円	53,400円
入院患者数	93,330人	93,623人	94,499人	95,448人
病床利用率	85.0%	85.5%	86.3%	87.2%
外来診療単価	12,300円	12,300円	12,300円	12,300円
外来患者数(1日あたり)	240人	240人	240人	240人

※みなと赤十字病院は、指定管理者制度を導入し、指定管理者である日本赤十字社が協定に基づいて運営を行っています。そのため、本プランにおいては、市立病院としての全体的な経営方針等について示すこととし、経営指標及び具体的な取組項目については、協定に基づいて、みなと赤十字病院独自で取り組むこととしています。なお、取組の結果については、毎年度、点検を行ってまいります。

### お問合せ先

医療局病院経営本部病院経営課長

白木 健介 TEL 045-671-4816